

## 岩手県企業短期経済観測調査結果（2020年3月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の67社
- 回答率97.0%（回答数65社、うち製造業26社、非製造業39社）
- 回答期間 2月25日～3月31日

### 1. 業況判断指数（DI）

業況判断指数（全産業）は、前回調査（12月）に比べ、「悪い」超幅が拡大した（前回▲1 → 今回▲15）。

業種別にみると、製造業は、復興需要の減少（窯業・土石製品）や新型コロナウイルス感染症の影響（食料品等）から判断を引き下げる先がみられたことから、「悪い」超幅が拡大した（前回▲15 → 今回▲19）。非製造業も、対個人サービスや宿泊・飲食サービス等で、新型コロナウイルス感染症の影響等から、判断を引き下げる先がみられたことから、「悪い」超に転化した（前回7 → 今回▲12）。

先行きについて、製造業では、新型コロナウイルス感染症の影響から判断を引き下げる先がある一方、同影響の緩和期待や新たな販路開拓等により判断を引き上げる先がみられることから、「悪い」超幅が縮小する見通し（今回▲19 → 先行き予測▲11）。非製造業では、復興需要の減少や新型コロナウイルス感染症の影響等により、判断を引き下げる先がみられることから、「悪い」超幅が拡大する見通し（今回▲12 → 先行き予測▲31）。この結果、全産業では「悪い」超幅が拡大する見通し（今回▲15 → 先行き予測▲23）。

各種判断DI（参考1）をみると、「製商品・サービス需給判断DI」は「供給超過」超幅が縮小した。「製商品在庫判断DI」は「過大」超幅が拡大した。「仕入価格判断DI」は、「上昇」超幅が縮小した。「販売価格判断DI」は、「下落」超幅を縮小した。この間、「生産・営業用設備判断DI」は、「不足」超が解消した。「雇人員判断DI」については、製造業、非製造業の「不足」超幅が縮小し、全産業でも「不足」超幅が縮小した。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	18/12月	19/3月	6月	9月	12月	20/3月	6月 (予測)
<b>製造業</b>	19	▲4	▲12	▲20	▲15	▲19(▲11)	▲11
素材業種	12	0	12	12	0	0(▲13)	▲13
加工業種	22	▲6	▲22	▲33	▲22	▲28(▲11)	▲11
<b>非製造業</b>	12	4	19	9	7	▲12(▲5)	▲31
建設	40	27	26	20	20	13(7)	▲33
<b>全産業</b>	14	2	8	▲2	▲1	▲15(▲8)	▲23

## 2. 売上高・経常利益（2019年度実績見込み、2020年度計画）

2019年度の売上高は、製造業では、海外経済の減速による需要減少等から、前回調査比減収幅が拡大した。非製造業では、復興需要の減少等により、前回調査比減収幅が小幅拡大した。この結果、全産業では、前回調査比減収幅が拡大した。

2020年度の売上高は、製造業では、新製品投入等による売上げ増を見込む先がみられるものの、非製造業では、復興需要の減少や新型コロナウイルス感染症の影響による売上げ減を見込む先がみられることから、全産業では前年比減収の計画。

2019年度の経常利益は、売上高の減少等により、製造業、非製造業とも前回調査比下方修正されたことから、全産業では前回調査比増益幅が縮小した。

2020年度の経常利益は、競争の激化（製造業）や売上げの減少見通し（製造業、非製造業）などから、全産業では前年比減益の計画。

—— 前年同期比・%、（ ）内は前回調査比修正率・%

	2019年度(実績見込)		2020年度(計画)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	▲ 4.9 (▲ 1.1)	18.9 (▲ 7.8)	4.0	3.4	4.6	▲25.3	17.9	▲36.3
非製造業	▲ 6.5 (▲ 0.2)	▲10.7 (▲13.5)	▲ 7.8	▲ 8.6	▲ 7.1	▲19.8	▲28.1	▲15.8
全産業	▲ 5.8 (▲ 0.6)	2.0 (▲10.8)	▲ 2.7	▲ 3.4	▲ 2.1	▲22.5	▲10.3	▲26.9

## 3. 設備投資額（2019年度実績見込み、2020年度計画）

2019年度の設備投資（土地を含み、ソフトウェア・研究開発投資を含まない）は、製造業、非製造業ともに、一部に計画の精緻化に伴う投資額の減額などの動きがみられたことから、前回調査比減少幅を拡大した。

2020年度については、製造業では能力増強・省人化投資により前年を上回るものの、非製造業では、前年の大口案件の反動減等がみられることから、全産業では前年を下回る計画。

—— 前年同期比・%、（ ）内は前回調査比修正率・%

	設備投資*		ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地）	
	2019年度 (実績見込)	2020年度 (計画)	2019年度 (実績見込)	2020年度 (計画)
製造業	▲ 5.4 (▲ 9.8)	14.0	▲12.1 (▲10.5)	20.7
非製造業	▲ 3.5 (▲ 3.1)	▲22.3	1.2 ( 2.8)	▲23.5
全産業	▲ 4.6 (▲ 7.1)	▲ 1.6	▲ 6.6 (▲ 5.0)	0.9

\*土地を含み、ソフトウェア投資、研究開発投資を含まない。

(参考1) 各種判断 DI の推移

—— 回答社数構成比、%ポイント、( ) 内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 DI (全産業ベース)

		18/12月	19/3月	6月	9月	12月	20/3月	6月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」—「供給超過」	▲10	▲13	▲12	▲15	▲18	▲17(▲18)	▲15
製商品在庫	「過大」—「不足」	4	4	11	12	8	12(—)	—
仕入価格	「上昇」—「下落」	33	27	24	18	15	13(29)	18
販売価格		10	3	3	▲7	▲6	▲5(▲12)	▲12

(2) 生産・営業用設備判断 DI(「過剰」—「不足」)

	18/12月	19/3月	6月	9月	12月	20/3月	6月 (予測)
製 造 業	▲15	0	11	15	7	4(11)	7
非 製 造 業	▲5	▲2	▲3	0	▲7	▲2(▲5)	3
全 産 業	▲9	▲2	3	6	▲2	0(1)	5

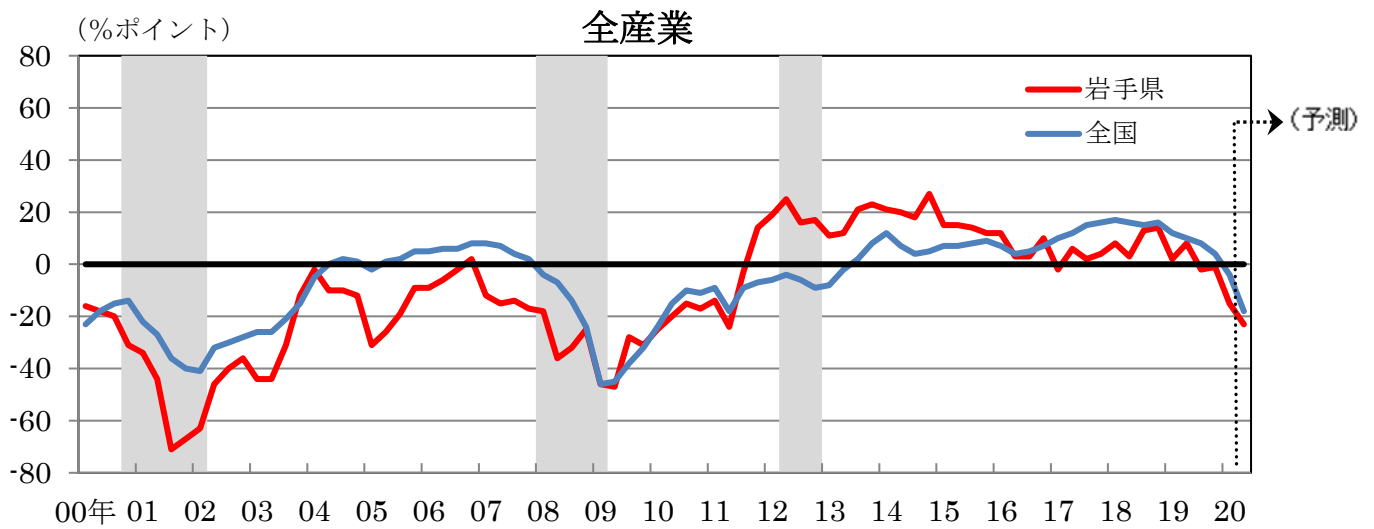
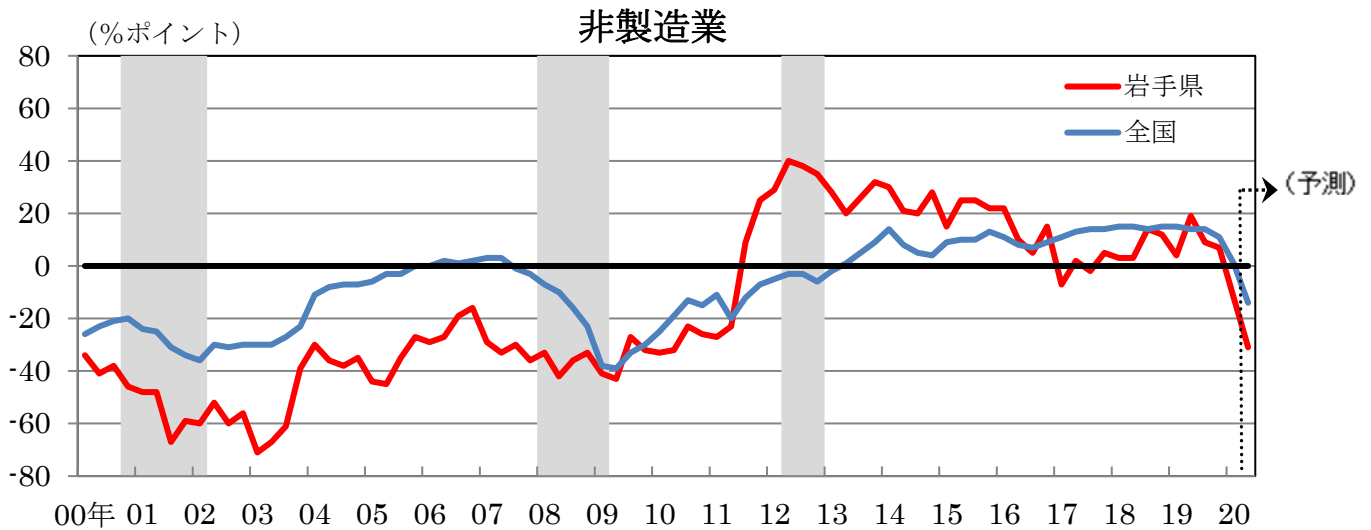
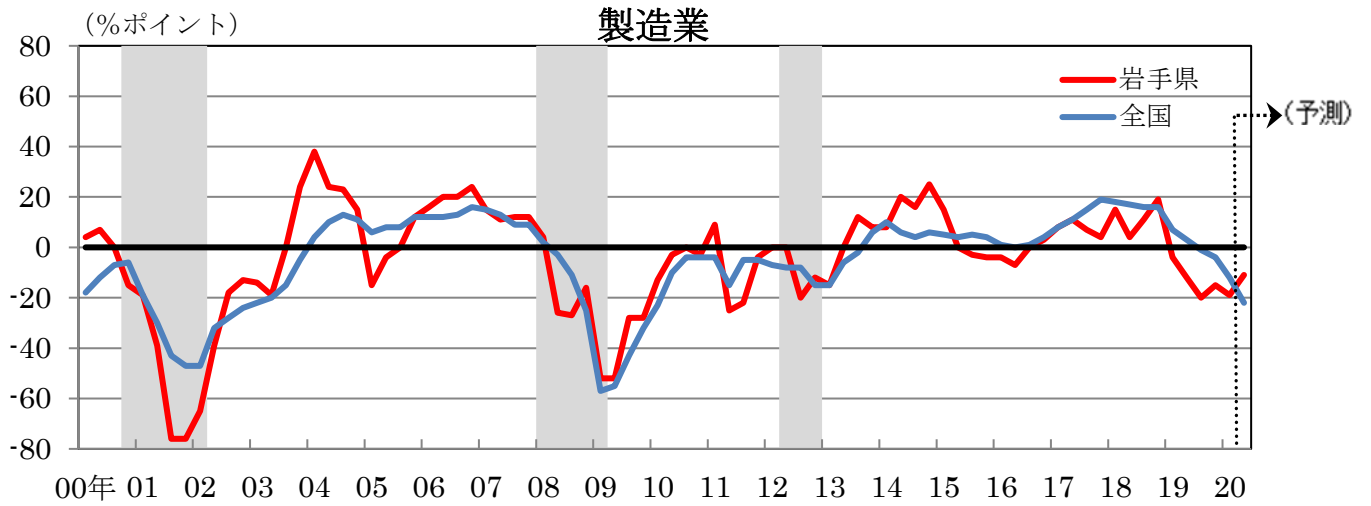
(3) 雇用人員判断 DI (「過剰」—「不足」)

	18/12月	19/3月	6月	9月	12月	20/3月	6月 (予測)
製 造 業	▲38	▲27	▲15	▲27	▲19	▲3(▲15)	3
非 製 造 業	▲46	▲43	▲49	▲41	▲47	▲42(▲43)	▲42
全 産 業	▲44	▲37	▲36	▲35	▲36	▲26(▲31)	▲24

(4) 企業金融関連判断 DI (全産業ベース)

		18/12月	19/3月	6月	9月	12月	20/3月	6月 (予測)
資金繰り	「楽である」—「苦しい」	5	1	9	7	6	▲4(—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」—「厳しい」	10	13	10	8	6	7(—)	—
借入金利 水準	「上昇」—「低下」	4	▲5	▲5	0	3	3(6)	4

(参考2) 岩手県の業況判断DIの推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断DIの推移

( )内は前回予測

		18/12月	19/3月	6月	9月	12月	20/3月	6月 (予測)
製造業	全国	16	7	3	▲1	▲4	▲12 (▲7)	▲22
	東北	9	▲3	▲6	▲5	▲9	▲12 (▲12)	▲22
	岩手	19	▲4	▲12	▲20	▲15	▲19 (▲11)	▲11
非製造業	全国	15	15	14	14	11	1 ( 5)	▲14
	東北	6	10	8	9	5	▲6 (▲2)	▲16
	岩手	12	4	19	9	7	▲12 (▲5)	▲31
全産業	全国	16	12	10	8	4	▲4 ( 0)	▲18
	東北	7	5	3	4	0	▲8 (▲5)	▲18
	岩手	14	2	8	▲2	▲1	▲15 (▲8)	▲23

(参考4) 東北各県の業況判断DIの推移

( )内は前回予測

		18/12月	19/3月	6月	9月	12月	20/3月	6月 (予測)
全産業	岩手	14	2	8	▲2	▲1	▲15 (▲8)	▲23
	青森	3	1	5	2	1	▲8 (▲5)	▲17
	宮城	0	6	3	2	▲4	▲15 ( 0)	▲23
	秋田	6	6	5	0	▲4	▲15 (▲8)	▲23
	山形	6	5	▲2	5	▲8	▲11 (▲7)	▲21
	福島	10	6	1	7	3	▲5 (▲4)	▲19

以上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所 TEL : 019-624-3622 (代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>